


 **試運転は、必ずドレンポンプの電源を入れて行ってください。**

◆運転確認

- 空調機のドレンパンに水を少しずつ(約3ℓ)入れ、ドレンポンプが運転を開始するのをご確認ください。試運転時にドレンポンプからのホースの末端で排水が確実に行われている事、接続部からの水漏れがない事をご確認ください(横引きされる場合は、特にご注意ください)。
- 運転時間が30秒以上かかる場合はホースの折れ、ホース・配管の詰まり、ドレンポンプの最大揚程、または、ホース施工での横引き可能距離(ドレンポンプの仕様および性能表欄参照)を超えている場合がありますのでご確認ください。
- ドレンポンプの最大揚程、または、ホース施工での横引き可能距離を超えている場合は、それぞれの使用可能範囲内におさめてください。

 **ドレンポンプへの注水量に気をつけてください。
一度に大量の水を入れるとドレンポンプの排水量を上回り水漏れを起こします。
必ず水を少しずつ入れて試運転を行なってください**

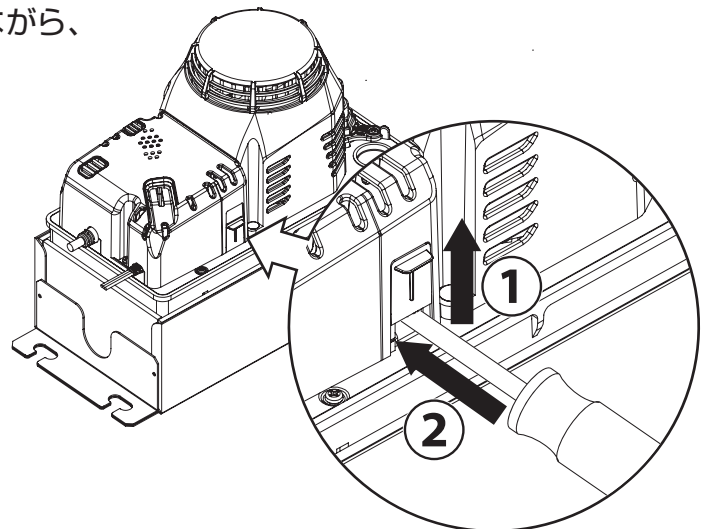
◆故障信号確認

● ホースピンチプライヤーを使用した確認方法

- 出口側のビニールホースをホースピンチプライヤーでピンチして水の流れを止めます。ドレンポンプのタンクが空の状態から約3.6ℓ まで水を入れて故障信号が出るか確認してください。
- 空調機のメーカーによって、インターロックにより空調機が停止する時間はさまざまです。必ず空調機が停止する事をご確認ください。

● 故障用レバーを使用した確認方法

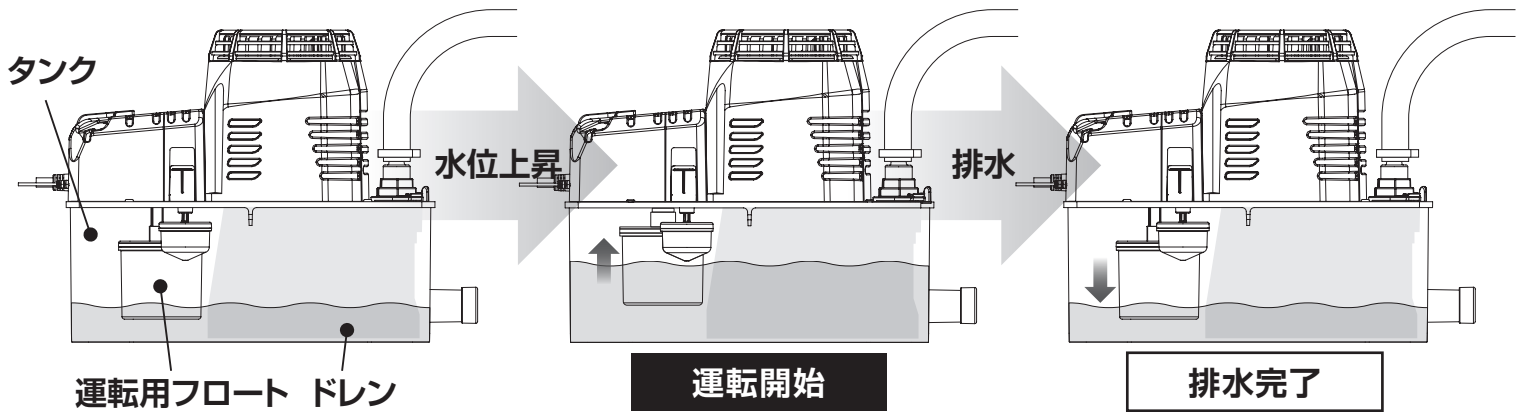
1. 側面のスライドカバーを上へスライドして開けてください(右図①)。
2. マイナスドライバーの先端を少し入れて底に這わせながら、奥の壁にあたるまで挿入してください(右図②)。
3. てこの原理でドライバーを下げて、スイッチレバーをゆっくりあげてください。
4. 上げたままの状態エアコンが停止する事をご確認ください。
5. ドライバーを電気ボックスから抜くと元の状態に戻ります。



本書は、空調機等の異常がドレンポンプ起因による不具合かどうかを判断する方法やその応急処置の方法、メンテナンスの方法が記載されています。

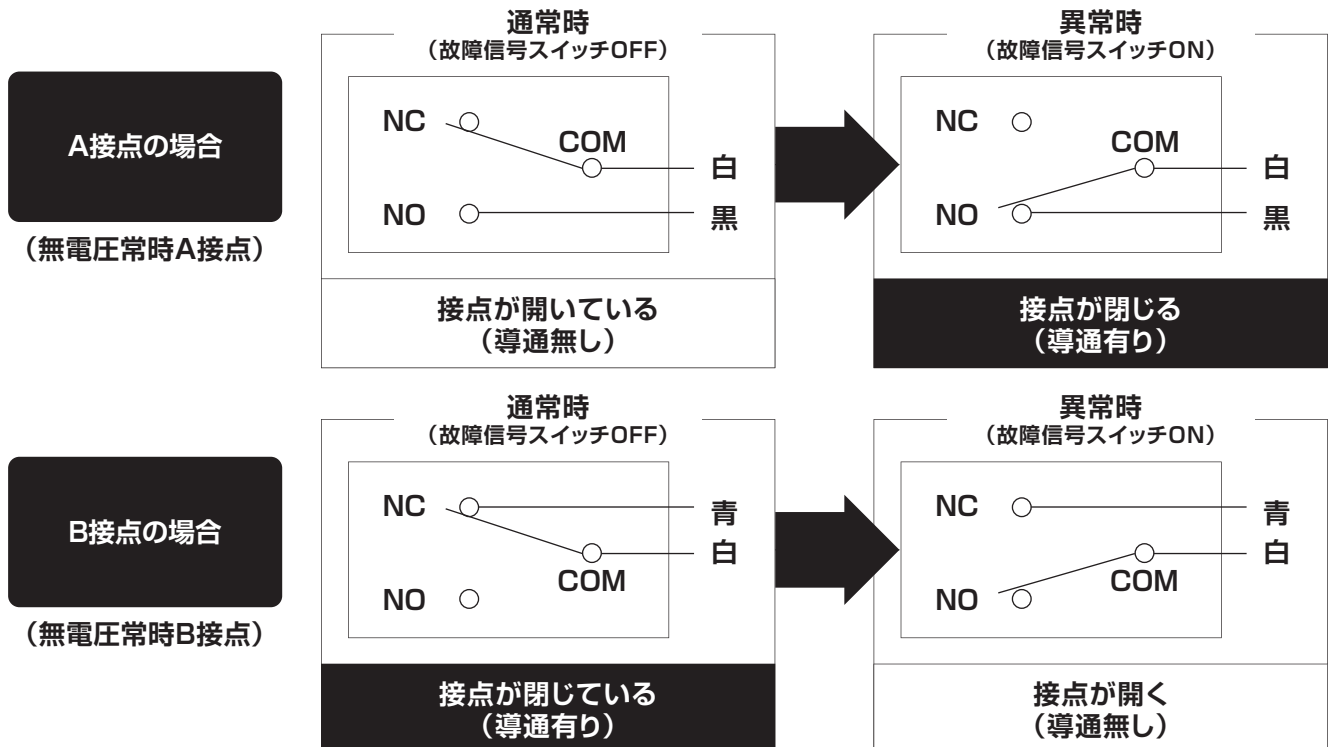
◆ 運転の流れについて(通常時)

ドレンポンプを電源に接続し、タンクにドレンが流れてくるようにしてください。タンクにドレンが流れ、タンク内の水位が上がると運転用フロートが上昇、スイッチが入ることでポンプが運転を開始します。ドレンが排水され、水位が下がるとスイッチが切れてポンプが運転を停止します。



◆ 故障信号について(異常時)

故障信号(異常時)は、無電圧常時A接点、またはB接点の取り出しが可能です。



◆ トラブルシューティング

ドレンポンプが故障かな?と思ったら、下表をご参照ください。

故障信号 (エラー)	水漏れ	考えられる原因	対処方法
無し	有り	当社製品以外からの水漏れ	水漏れ箇所を特定し、適切に対処してください
	無し	運転水位まで水が入っていない	運転水位まで水を足してください
有り	水漏れ有り または、無し	電源供給できていない	ドレンポンプに電源供給できているかをご確認ください
		排水能力不足	試運転要領、性能表をご確認ください
		逆止弁の詰まり	ドレン出口管(逆止弁内蔵)のメンテナンスの方法をご確認ください
		ホースの折れ	据付要領、試運転要領をご確認ください
		ホース、配管の詰まり	試運転要領をご確認ください
		運転用マイクロスイッチの不具合	電源用レバーをON・OFFし、運転するか確認してください

上記のトラブルシューティングを実施後も不具合が改善しない場合は、販売店、または、弊社へお問い合わせください。



排水不良時、ドレンポンプの不具合か排水管の不具合かを確認するには、内径12mmで1mほどのホース(現地手配)をドレン出口管につなぎ、ドレンを問題なく排水できるか、バケツなどで受けてご確認ください※。

※水は勢いよく流れますので、ご注意ください。ホースをホースピンチプライヤーでピンチして、水の流れを止めた後、ピンチを徐々に緩めて出口管の水をゆっくりと排水させてください。

◆ メンテナンスについて

● メンテナンス時の注意

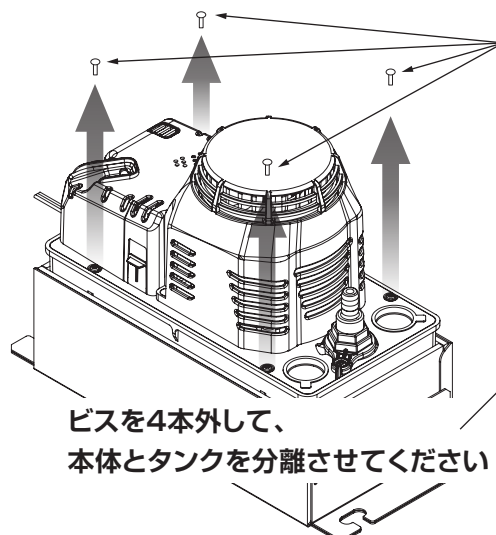
ドレンポンプの洗浄は、水で行ってください。薬品・洗剤などは本体破損につながる可能性がありますので使用しないでください。ドレンポンプ本体は防水性がありません。ドレンポンプのモーターおよび電気部品に水がかからないようにご注意ください。また、空調機のメンテナンスにおける洗浄の際は、ドレンポンプに薬品・洗剤などが流れ込まないように対策を取ってください。

● 点検について ※点検時は必ずドレンポンプの電源をお切りください

定期的の実施してください(空調機のご使用期間(シーズン)前後)。

点検の手順

1. ポンプ本体とタンクを分離させてください(右図参照)
2. フロートが手でスムーズに動くことをご確認ください。
3. タンク内に溜まった汚れをきれいに洗い流してください。
4. ホースの緩み、キズ、詰まりがないかご確認ください。
5. 点検後は、試運転要領に添った動作確認を必ず行ってください(その際、ドレンポンプの電源は必ず入れてください)。



● ドレン出口管(逆止弁内蔵)のメンテナンス方法について

ドレン出口管の詰まりで排水ができない、またはドレンポンプが発停を繰り返す場合は、ドレン出口管を取り外し(取りはずし方は下記「ドレン出口管の交換について」を参照)、水洗いで清掃してください(洗剤、薬品、有機溶剤などは使用しないでください)。水洗いの際、内蔵の逆止弁が傷つかないようにご注意ください。

※ドレン出口管は逆止弁内蔵の一体成型品ですので逆止弁は取り出しできません。無理に取り出すと破損の原因になります。

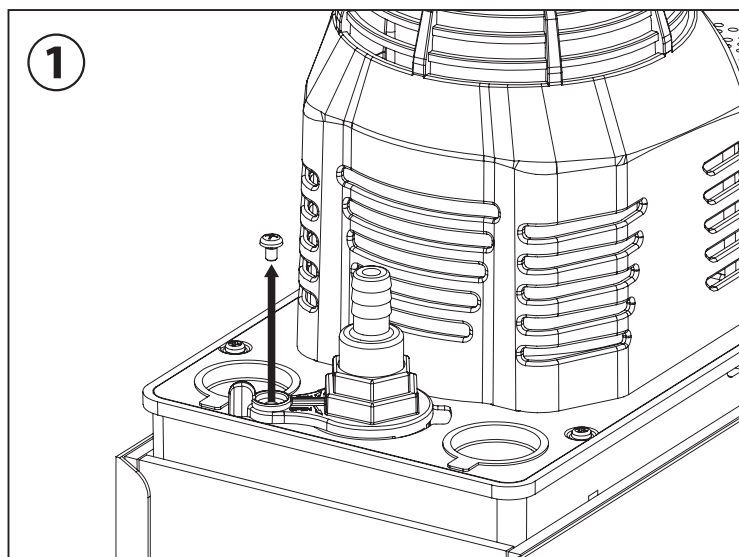
清掃しても異常が改善されない場合は、ドレン出口管を新しいものに交換してください。

交換方法は下記「ドレン出口管の交換について」をご参照ください。

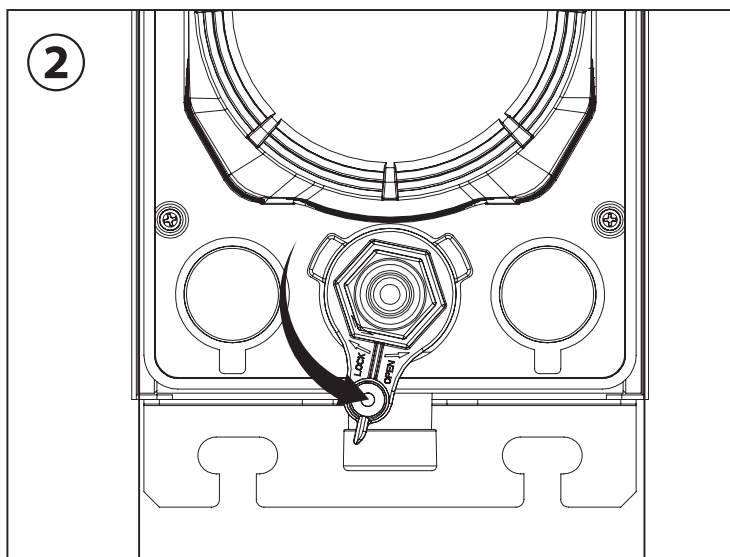
◆ ドレン出口管の交換について

下記手順は、ドレン出口管に接続したビニールホースを専用工具などで止水してから行ってください。

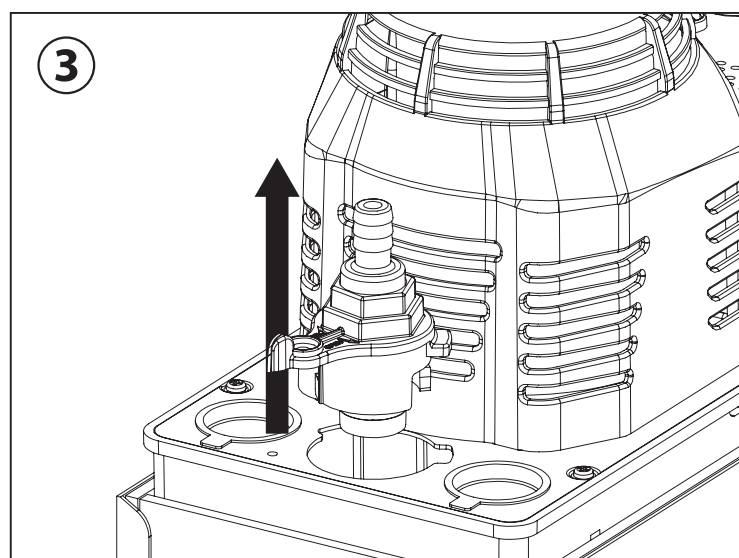
ドレン出口管の交換手順



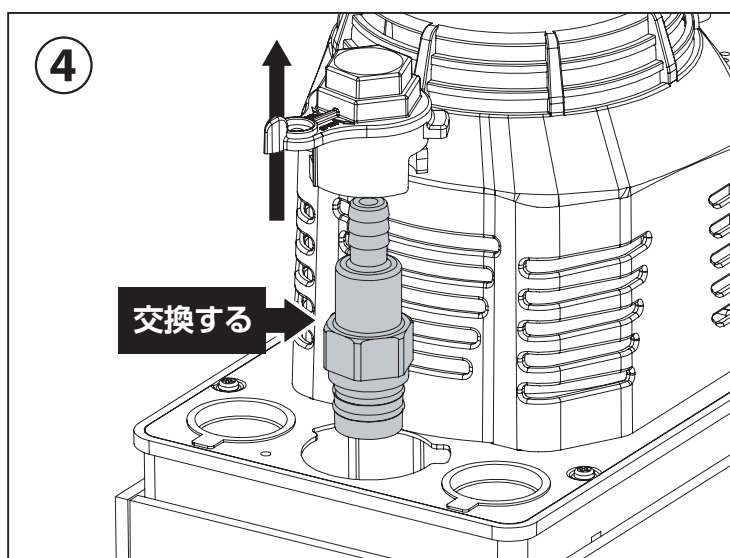
① ドレン出口管固定具のネジをはずします



② 固定具のレバーをOPEN側へ回します



③ 固定具とドレン出口管を引き上げます



④ 固定具を取りはずし、ドレン出口管を交換します

ドレン出口管を取り外す際に吐出側配管内のドレンが流れ出る事がありますので十分ご注意ください。

ドレンが残っていた場合は、バケツなどで受けてください。

取り付けが完了した後、必ず試運転をして排水時に水漏れが無い事をご確認ください。